



こんにちは
日本共産党

市会議員

西野さち子です

くらしの目線で市政を変える

フクシマを忘れない…国は復興に最後まで責任を

3.11だいがごキャンドルに参加しました



今年で3回目の「だいがごキャンドル」が昨年に続き醍醐折戸公園で行われました。西野さち子市議も当日準備から参加しました。

醍醐地域の様々な施設やお店学校保育所などから、それぞれの願いが書かれた紙コップ5000個が集められ、ローソクの日がともされました。2時46分には準備の手を止めて黙とうをしました。

東北大地震から6年がたちますが、福島ではいまだに復興が進んでいません。ところが政府は非難指示の解除を

広げていっています。まだまだこともたが外で自由に遊びまわることができないのに避難指示解除をしないのでしょうか。浪江町に一度帰られたあ

る方は「暗くて寂しくて気持ちがつぶされそうだ」と一晩で避難先に帰られたそうです。福島第一原発の廃炉は全く進んでいません。放射線量があまりにも高濃度なため、調査ロボットさえ近寄れない状況です。

避難指示解除ではなく、復興に最後まで責任を持つことが必要です。そして、未曾有の被害を受けた東日本大震災を教訓に災害関連法を見直し、復興の制度を整える必要があります。「だいがごキャンドル」でつながった地域の皆さんとともに安心して住み続けることのできる地域づくりを進めましょう。

議会報告 来年度予算案 全会計で1兆6897億円

2月22日から始まった予算議会は3月24日が最終本会議となります。来年度予算の規模は一般会計、特別会計、公営企業（バス・地下鉄・上下水道）会計全てで1兆6897億円です。特徴的なのは安倍内閣が大型公共工事を進める中で、京都市もリニア新幹線、北陸新幹線、ホテル建設等、呼び込み型の企業誘致を進めていることです。

また、市職員を196人削減で人件費24億円、公有地の売却などで20億円、事業見直しで48億円など市民サービスの切り捨てで市職員の負担も限界にきています。高すぎる国保料は引き下げ無しで、子どもの医療費助成制度はそのままです。一方、今後京都市では、中央市場第一市場の整備に約600億円、市庁舎整備に約350億円、美術館整備に約100億円等大型工事が目白押しです。

それぞれ整備は必要ですが、身の丈に合った規模での再整備が必要です。



住民のための「民泊」対応ハンドブック

2017年3月発行

民泊、市庁舎で「民泊」と呼ばれる宿泊施設が激増しています。「どう対応すれば良いのか」迷惑行為をやめさせたい！... 官様の心配が少しでも改善されることを願って、ハンドブックを作成しました。お近くの日本共産党議員や、党事務所にお声かけください。一緒に取り組むのを進めたいです。あきらまず、こいつらに声を上げましょう。

日本共産党 Eメール info@cpkyoto.jp
京都府議会議員 〒604-8571 京都市中京区河原町南端 京都市役所内
電話 075-222-0720 ファックス 075-211-2130

「民泊問題」のハンドブックができました!

町内などでの活用等ご希望の方は

日本共産党京都市会議員団 ☎075-222-3728

まで、お気軽にお問い合わせ下さい。